

半田病院だより

第 **158** 号

「半田病院だより」は、半田病院ホームページ (<http://www.city.handa.aichi.jp/byouin/>) からご覧いただけます。

半田病院広報部会

熱中症に注意しましょう

救命救急センター 医師 田中 孝也

発生要因

熱中症は熱(ねつ)に中(あたる)という意味で、熱に起因した病態全てを指す総称です。熱中症は体内での熱産生と熱放散とのバランスが崩れて、体温が著しく上昇した状態をいいます。

熱は安静時、肝臓や心臓などの体内臓器で70%以上が産生され、残りは筋肉や皮膚で産生されますが、肉体労働や運動では80%以上が筋肉や皮膚で産生されるようになります。産生された熱は、主に体表面に運ばれ、皮膚から放散されます。汗が蒸発するとき、熱を奪い、体温を下げますが、気温、湿度が高くなりますと汗をかいてもなかなか熱が蒸発しなくなり、熱が体内に溜まるようになり、熱中症を発症します。

熱中症の初期症状

- ・唇がしびれる
- ・足がピクピクする、足がつる、ふらつく
- ・立ちくらみ、めまい
- ・身体がだるくなる、脈が速くなる、血圧低下
- ・大量の発汗
- ・汗が出なくなる、止まる
- ・皮膚がかさつく
- ・腕の付け根の脱力感
- ・こむら返り（筋肉の痙攣）、腹が引きつる
- ・意識がなくなる
- ・突然卒倒

応急処置

下表のような初期症状を認めれば、涼しい場所で休ませる。木陰やクーラーの効いた所で衣服を緩めるのが良いです。近くにそのような場所が無い時は、うちわ等で早急に体を冷やすようにします。

冷却は重要です。霧吹きで全身に水を浴びせて、気化冷却で冷やします。霧吹きが無いときは、口に水を含んで拭きかけても良いです。その時の水は冷たくなくても良いです。屋外では冷たい缶ジュースを脇の下、股などの動脈が集中する部分にあてて冷やすのも良いです。

経口補水液やスポーツドリンク等を飲ませるのも大事です。ただし、冷たいものを大量に飲ませると胃痙攣が起きる事があるので、注意が必要です。決して塩分を含まないお茶や水のみを大量に摂取してはいけません。

熱中症と判断すれば、速やかに病院へ連れて行きましょう。移動させるのに人手が必要と思えば大声で助けを呼びましょう

汗をかいていなくても、体温が高なくても、熱中症の可能性はあります。脱水していれば汗をかく事ができないからです。自分で大丈夫だと思っても「おかしい」と思った時にはもう遅い可能性があるので注意しましょう。

来月の催し物

8月9日(水)

〇いさいき健康講座

テーマ「がん検診と緩和ケアについて」

※「はんだ健康マイレージ」対象事業

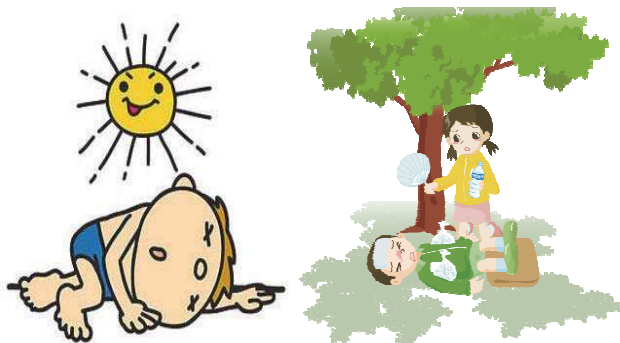
講師：緩和ケア専従看護師

時間：10時30分～11時30分

場所：半田病院 正面玄関ホール

申込み：不要

問合せ：半田病院 看護局



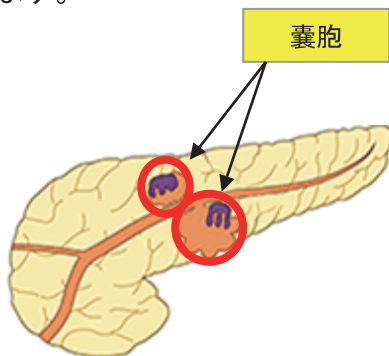
膵嚢胞(すいのうほう)のお話

消化器内科 杉本 啓之 医師

「嚢胞(のうほう)」とは液体成分が溜まった袋状のものを指し、肝臓や腎臓など様々な臓器に生じます。

膵臓の内部や周囲にできたものを「膵嚢胞」と言い、自覚症状を伴わず、健康診断や他の病気のために行った検査などで偶然発見されることが多くあります。膵嚢胞を持つ人が膵癌になる危険性は、嚢胞を持たない人の20倍以上とも言われ、また膵嚢胞自体が膵癌の存在を示していることもあり、膵嚢胞を指摘された時には精密検査を受けることが大切です。

膵嚢胞には腫瘍性と非腫瘍性があり、腫瘍性の中では膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN: Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm)が多くの割合を占めます。



IPMNは膵液の通り道である膵管の中に乳頭状に増殖する膵腫瘍で、IPMNが粘液を作り出すことで嚢胞状となる 경우가多く、膵管が拡張することもあります。いわゆる“通常の膵癌”とは違い、良性から悪性まで様々な段階があります。時間経過とともに悪性化(=癌化)することが知られており、嚢胞が癌化する場合と嚢胞以外の膵臓の部分が癌化する場合があります。

経過観察には半年ごとの画像検査が推奨されており、腹部超音波検査、CT検査、MRI検査、超音波内視鏡検査などを組み合わせて行い、嚢胞の変化をとらえることで手術の必要性を判断するとともに、嚢胞以外の膵臓内を観察することで併存膵癌を早期に発見することが期待されています。

積極的に、健康診断を受診しましょう！！

超音波内視鏡検査は超音波装置を搭載した内視鏡(カメラ)を用いて、胃や十二指腸から膵臓を観察する検査で、体の表面から行う通常の超音波検査とは異なり、膵臓との間に胃や腸の中の空気や脂肪といった妨げとなるものが存在しないため、より詳細な膵臓の観察が可能となります。

通常の膵癌は進行した状態で診断されることが多いため、非常に予後の悪い病気であり、予後の改善のためには早期発見が重要となります。

まずは腹部超音波検査など画像検査を含む健康診断を受けること、その結果「膵嚢胞」の指摘を受けた場合は積極的に精密検査を受けることが大切です。

EUS-scope(内視鏡)



上手なかかり方をお教えします！！

～ まずは【かかりつけ医へ】～

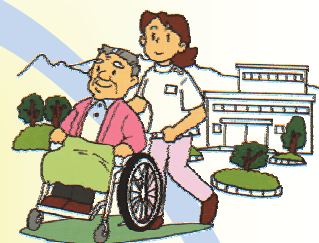
★2,160円も・・・（半田病院では）★
 紹介状を持参される初診患者さんの場合、保険負担とは別で、自費負担となる2,160円（70歳以上は1,080円）をお払いいただく事もあります。



- ・急性期（※）医療
- ・高度専門医療

※急性期とは・・・
 急性疾患や慢性疾患の急性増悪など、緊急・重症な状態にある時期

地域医療支援病院



予約も出来て、便利だな～。
 紹介状があれば待ち時間も短くなるし！

★かかりつけ医から★
 かかりつけ医が半田病院での受診が必要と判断したら、半田病院への紹介や検査・受診の予約をしてもらえます。



- ・体調が悪いけど、何が悪いのか具体的にわからない・・・
- ・いきなり半田病院へ行くと、待ち時間が長すぎる・・・
- ・余計に体調が悪化しそう・・・

まずは近所のお医者さんに相談してみましょう！

★かかりつけ医の利点は・・・★

- ★総合診療医として、いろいろな病状に対して診てもらえます。
- ★大きな病院の医師は異動等で入れ替わることがありますが、かかりつけ医は、末永く診てもらえます。
- ★専門的な検査や治療が必要な場合には、最適な専門医を紹介してもらえます。

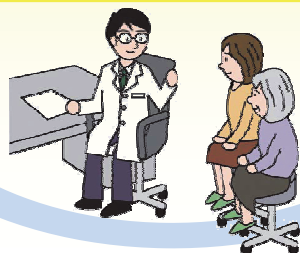


地域の診療所
 かかりつけ医



地域の医療機関
 ・福祉施設

- ・初期診療の診察
- ・日常の健康管理
- ・病気の予防



- ・回復期リハビリテーション病院
- ・療養型病院
- ・介護保険施設
- ・訪問看護ステーション等

脳ドックをうけてみませんか

半田病院では、平成28年6月から脳ドックを行っています。

脳ドックは高度医療機器のMRI装置をはじめ、心電図、心エコー、頸動脈エコー、脈波伝播速度（血管年齢や血管の硬さの検査）、BNPの採血（心臓異常値の検査）を行うことにより、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や、脳腫瘍、血管の狭窄、認知症などの脳に関する病気の早期発見、予防的治療を提供することを目的に行われます。



また、脳ドックの重要性と検査内容の紹介をした動画を公開しています。ホームページか以下のQRコードよりご覧ください。

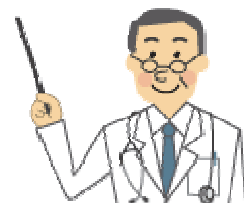


予約・問い合わせは
0569-22-9881
脳神経外科外来
(14:00~16:30)まで。



半田病院では、平成29年6月から専門医と骨粗鬆症マネージャーによる骨ドックも開始しています。

骨粗鬆症を心配に思われる方は、ぜひ受診していただき健康管理にお役立てください。予約・問い合わせは 整形外科外来(14:00~16:30)まで。



● 半田病院の理念 ●

私たちは、良質な医療の提供を通じて地域社会に貢献します。

● 半田病院の基本方針 ●

1. 救急・がん・災害・周産期小児医療を含む急性期医療を提供し、基幹病院の役割を果たします。
2. 安全で適切な医療を提供します。
3. 地域の医療機関や介護施設等との連携を大切に、地域完結型の医療を提供します。
4. 教育・研修病院として豊かな人間性を有する医療人を育成します。
5. 常に健全な経営を意識して、安定した医療サービスを提供します。

● 患者の権利と責任 ●

半田病院は、十分な説明と同意に基づく高い信頼関係のもとで、患者の皆さんと病院が協力して安全な医療を行うために、「患者の権利と責任」について以下のことを確認します。（各項目抜粋）

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療内容について知る権利
3. 治療について自分で決定する権利
4. セカンドオピニオンを求める権利
5. プライバシーが保護される権利
6. 病院内及び社会のルールを遵守し、医療に参加・協力する責任
7. 診療に要する費用を負担する責任

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 / TEL (0569) 22-9881 / FAX (0569) 24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp / URL <http://www.handa-city-hospital.jp/>